

小学校は給食費を無償化し、中学校は給食費の公費負担を増額し、子育て世帯の負担軽減を図ります



令和8年(2026年)2月20日

東海市記者会見資料

学校教育課

小学校は、国の方針により、令和8年(2026年)4月から小学校の学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる無償化)を実施することから、東海市も保護者負担の軽減を図るため、国・県からの交付金と併せて公費負担を行い、給食費を無償化とするもの。

また、小中学校の給食は、令和7年度(2025年度)から給食費を見直しして小学校310円、中学校360円で作っていたが、物価高騰により、必要なカロリーや栄養の確保が難しいため、賄材料費を増額するとともに保護者負担の軽減を図るため、公費負担を増額するもの。

【給食費負担軽減交付金(仮称)】

- 対象者 市内小学校に在籍する児童 6,293人
- 時期 令和8年(2026年)4月から
- 内訳について
 - ・支援の基準額等 月額5,200円×11ヶ月×児童数
 - ・国、県の負担割合 国(1/2)、県(1/2)



【物価高騰による対応】

- 負担内容 1食当たりの賄材料費について、小中学校とも1食当たり20円を増額する。

中学校については、公費負担を20円増額し、保護者の負担額は増額しない。 [] は公費負担

	給食費	保護者負担額	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	公費負担総額
小学校	310円	0円	310円 [60円]	330円 [交付金との差額]	28,383千円
中学校	360円	290円	360円 [70円]	380円 [90円]	56,860千円

【予算措置】

<歳入>

- ・給食用賄材料費保護者等負担金 239,645千円
- ・給食費負担軽減交付金 国 179,979千円
- 県 179,979千円

<歳出>

- ・学校給食調理事業(アジア給食除く) 684,846千円 (うち公費負担額85,243千円)